

# CASBEE<sup>®</sup> - 建築(新築)

## 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE埼玉県2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	岡部(株)久喜工場拠点整備計画 新	階数	地上2F
建設地	埼玉県久喜市	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条指定区域	平均居住人員	143 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,344 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年11月 予定	評価の実施日	2017年11月1日
敷地面積	44,085 m <sup>2</sup>	作成者	道場 友紀
建築面積	1,195 m <sup>2</sup>	確認日	2017年11月1日
延床面積	2,128 m <sup>2</sup>	確認者	砂川 幸孝



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 参考値: 138 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)  
 建築物の取組み: 46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)  
 上記+: 81%  
 上記+: 81%  
 上記+: 81%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 敷地内の緑化及び駐輪場・駐車場の設置、室内環境の向上、維持管理に配慮した内装材の使用等、機能性の考慮と共に環境配慮を行う。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 1階事務室、大会議室は長時間人が滞在するスペースのため、熱線反射ガラスの採用やブラインド及びカーテンを設置して、日射に配慮する。また、大開口部(カーテンウォール)についても、日射を考慮して室内環境を向上	<b>Q2 サービス性能</b> 階高、天井高さを十分に確保するとともに、維持管理に配慮した内装計画とした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 緑化(高木、中木、駐車場緑化含む)を土地利用計画に可能な範囲で確保する。
<b>LR1 エネルギー</b> 主要なエネルギー消費量を把握して、適切に運用し省エネルギー化を図る。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> リサイクル材等を積極的に活用する。	<b>LR3 敷地外環境</b> 駐輪場、駐車場を建物利用者に対して適切な台数設置する。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
**Q: Quality** (建築物の環境品質)、**L: Load** (建築物の環境負荷)、**LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性)、**BEE: Built Environment Efficiency** (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS**  
**阿部(株)久壽工場拠点整備計画 新事務厚生棟**

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C  
 評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>0 建築物の環境品質</b>							<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>				<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15				<b>3.0</b>
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40				
1.2 遮音		3.0	0.40				
1 開口部遮音性能		3.0	0.60				
2 界壁遮音性能		3.0	0.40				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							
1.3 吸音		3.0	0.20				
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.0</b>	0.35				<b>2.0</b>
2.1 室温制御		3.0	0.50				
1 室温	金属断熱パネル(一部窓ガラスに熱線反射ガラス採用)	3.0	0.38				
2 外皮性能		3.0	0.25				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38				
2.2 湿度制御		1.0	0.20				
2.3 空調方式		1.0	0.30				
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.1</b>	0.25				<b>3.1</b>
3.1 昼光利用		3.0	0.30				
1 昼光率		3.0	0.60				
2 方位別開口							
3 昼光利用設備		3.0	0.40				
3.2 グレア対策		3.0	0.30				
1 昼光制御		3.0	1.00				
3.3 照度	事務室: 全般照明 750lx	4.0	0.15				
3.4 照明制御		3.0	0.25				
<b>4 空気環境</b>		<b>4.0</b>	0.25				<b>4.0</b>
4.1 発生源対策		5.0	0.50				
1 化学汚染物質	規制対象外の建材以外はJIS・JAS規格のFを採用	5.0	1.00				
4.2 換気		3.0	0.30				
1 換気量		3.0	0.33				
2 自然換気性能		3.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33				
4.3 運用管理		3.0	0.20				
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50				
2 喫煙の制御		3.0	0.50				
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>				<b>3.7</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.4</b>	0.40				<b>3.4</b>
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40				
1 広さ・収納性		3.0	0.33				
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33				
3 バリアフリー計画		1.0	0.33				
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30				
1 広さ感・景観	事務室天井高2.7m、窓あり	4.0	0.33				
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース11.74%(多目的室、食堂)、自動販売機あり	5.0	0.33				
3 内装計画		3.0	0.33				
1.3 維持管理		4.5	0.30				
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い仕上げを採用	5.0	0.50				
2 維持管理用機能の確保	掃除用流し兼道具置場を各階に設置	4.0	0.50				
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.6</b>	0.30				<b>3.6</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.8	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	X方向、Y方向において保有水平耐力が必要保有水平耐力の1.25倍	4.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	更新に配慮した内装材を選定	4.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出、厨房排気系統にガルバリウム鋼板を採用	4.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水配管:水道用硬質ポリ塩化ビニル管、排水:硬質塩化ビニル管	5.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20				
2.4 信頼性		3.4	0.20				
1 空調・換気設備		3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20				
3 電気設備		3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法	耐震クラスA	4.0	0.20				
5 通信・情報設備	機器類は1階、2階に設置、外線・内線電話、光ケーブル設置予定	4.0	0.20				

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>4.2</b>	0.30	-	-	<b>4.2</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>5.0</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	1階:4.2m、2階:3.9m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	使用を配慮した形状として、壁率比0.1以下	5.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>5.0</b>	0.30	3.0	-	
書庫・事務所:4,900N/m <sup>2</sup>							
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	<b>2.8</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.5</b>	0.30	-	-	<b>2.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.5</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>3.8</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			[BPI]m= 0.64	<b>5.0</b>	0.20	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>				<b>3.0</b>	0.10	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>			[BEI][BEI]m = 0.74	<b>3.6</b>	0.50	-	<b>3.6</b>
<b>4 効率的運用</b>				<b>3.5</b>	0.20	-	<b>3.5</b>
集合住宅以外の評価				<b>3.5</b>	1.00	-	
4.1	モニタリング	簡易集中監視システム採用		4.0	0.50	-	
4.2	運用管理体制			3.0	0.50	-	
集合住宅の評価				-	-	-	
4.1	モニタリング			-	-	-	
4.2	運用管理体制			-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>3.5</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
1.1 節水				<b>4.0</b>	0.40	-	
自動水栓、節水型器具採用							
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				<b>3.0</b>	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.6</b>	0.60	-	-	<b>3.6</b>
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				4.0	0.20	-	
ボード、ビニル系床材							
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	
内装はLGS+ボード、設備配管・配線は天井内に設置							
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.6</b>	0.20	-	-	<b>3.6</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用				<b>5.0</b>	0.30	-	
接着剤、シーリング、塗装は指定化学物質を含有しないものを採用							
3.2 フロン・ハロンの回避				<b>3.0</b>	0.70	-	
1	消火剤			-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	
3	冷媒			3.0	0.50	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>				<b>3.7</b>	0.33	-	<b>3.7</b>
自動算出による							
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
2.1 大気汚染防止				<b>3.0</b>	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				<b>3.0</b>	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				<b>3.2</b>	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	
3	交通負荷抑制	適切な量及び配置の駐車場、駐輪場、バイク置場を計画		4.0	0.25	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	
1	騒音			3.0	0.33	-	
2	振動			3.0	0.33	-	
3	悪臭			3.0	0.33	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	
2	砂塵の抑制			3.0	-	-	
3	日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>				<b>3.0</b>	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	
2	日光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	

# CASBEE埼玉県

# 重点項目シート

使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	岡部(株)久喜工場拠点整備計画 新事務厚生棟	BEE	1.5	BEEランク
------	------------------------	-----	-----	--------

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO <sub>2</sub> の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.7	+	3.0	=	6.7 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO<sub>2</sub>の削減</b>		スコア平均	3.7
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.7
< 配慮した内容を記述 > 敷地外に渋滞や路上駐車が発生しないよう、敷地内に駐輪場・駐車場の適正な台数設置する。また、リサイクル材の積極的な活用をし、機能性の考慮と共に環境配慮を行う。			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	3.0
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
< 配慮した内容を記述 > 緑化(高木、中木、駐車場緑化含む)を土地利用計画上可能な範囲で確保する。			

: 入力欄